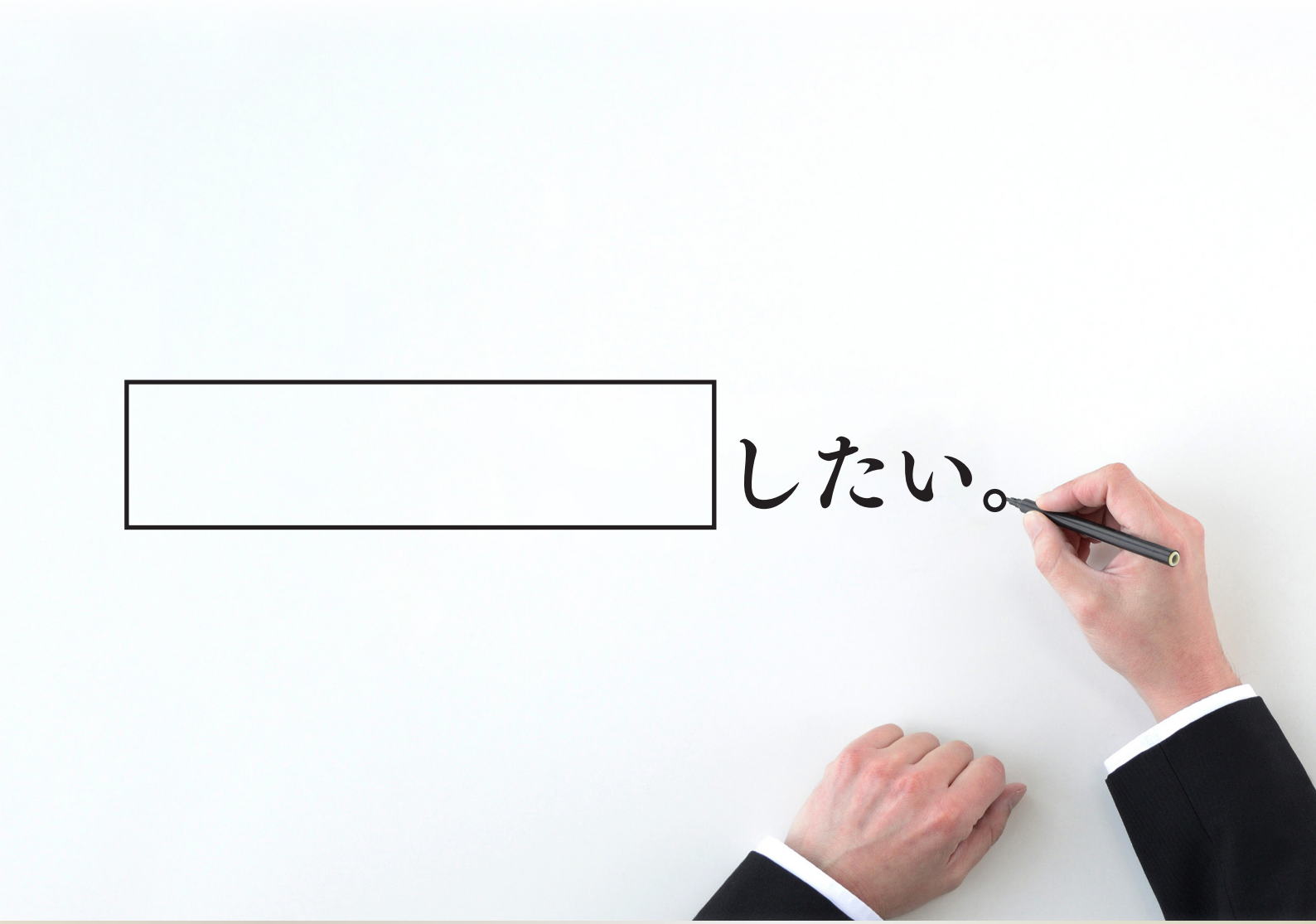
特許情報分析による
中小企業等支援
事例集

特許を調べて経営課題を解決？



独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

特許情報とは

特許・実用新案の出願や権利化に伴って提供される公開情報のこと。例えば、特許出願から１年６月後に公開される公開特許公報には、出願人、発明者、出願日、発明の概要など、様々な特許情報が掲載されています。

こうした特許情報は、特許の取得はもちろんのこと、上手く活用することで、研究開発の推進、新規事業への参入、事業方針の検討など、様々な経営課題の解決にも役だてることができます。

Contents

特許を調べると何がわかる？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

特許情報を活用した事例

新たなビジネスモデルを構築したい（福島 SiC 応用技研株式会社）・・・・・・・・・・Ｐ５

自社の技術的優位性を把握したい（ピクシーダストテクノロジーズ株式会社）・・・・Ｐ６

当社技術の特許性を検証したい（メディギア・インターナショナル株式会社）・・・・Ｐ７

新技術を権利化したい（有限会社志津刃物製作所）・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

事業化に向けて特許権を取得したい（株式会社データグリッド）・・・・・・・・・・・Ｐ９

研究成果を客観的に評価したい（公立大学法人大阪　大阪市立大学）・・・・・・・・Ｐ１０

ビジネス展開に向けて、知財戦略を策定したい（株式会社八旗農園）・・・・・・・・Ｐ１１

研究課題を解決したい（地方独立行政法人山口県産業技術センター）・・・・・・・・Ｐ１２

研究開発の方向性を見極めたい（株式会社スポーツセンシング）・・・・・・・・・・Ｐ１３

技術トレンドを把握したい（AMI 株式会社） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１４

特許を調べると何が分かる?

Q1. 弊社の技術は他社の技術と比較して優れているのでしょうか？

A1. 特許情報を調べ整理することで、競合他社がどのような技術を持っているのかを把握し、自社の技術レベルと比較することも可能です。

気づいていないだけで、もしかするとあなたの技術も特許権を取得できるかもしれません。

Q2. 現在開発中の新製品・新技術が他社の特許を侵害していないか心配です。

A2. 開発中であり、仕様や構成を変更可能なものであれば、特許権侵害の心配はありません。

しかしながら、既に出願されている特許技術と重複する研究開発は無駄な取り組みとなります。特許情報を調べることで、開発中の技術と類似する技術を回避することもできます。

Q3. 新たな研究開発を行うためのアイデアが欲しい。

A3. 関連する技術分野の特許情報を調べ分析することで、どのような課題にどのような技術が用いられているかを把握することができます。他社の技術を参考に、自社が得意な技術や関心のある開発テーマを模索できます。

Q4. そうは言っても調べ方が分からないけど・・・

A4. “中小企業特許情報分析活用支援事業”を利用してみませんか？中小企業の方なら無料で支援が受けられます。

詳細はコチラから ⇒ https://ip-bunseki.inpit.go.jp/

Q5. 特許情報がどう役に立つのかもっと具体的に知りたい。

A5. “中小企業特許情報分析活用支援事業”を利用して、特許情報を活用した企業の声を紹介します。

詳しくは次頁から。

新たなビジネスモデルを構築したい。

福島SiC応用技研株式会社

所 在 地 ：福島県双葉町　**設　立** ：2014 年　**従業員数** ：44 名
事業内容 ： シリコンカーバイド (SiC: 炭化ケイ素) 応用製品の製造、販売
URL : http://www.fukushima-sic.co.jp/

新たなビジネスモデル構築

当社は SiC パワーエレクトロニクス技術を活用して、人体内の奥深くまで中性子を到達可能な小型大強度加速器中性子源の実用化に成功しました。そして、この中性子源を用いたホウ素中性子補足療法事業を開始しています。本事業をさらに拡大するため、新たなビジネスモデル構築に資する特許情報を取得する必要がありました。

技術動向がつかめた

新たなビジネスモデル構築に必要な技術の動向をつかむことができました。また、主要な特許文献を把握することもできました。

潜在的パートナーとの連携

解析結果を利用して、新たなビジネスモデルにおける、共同研究機関やパートナーシップを結ぶ企業の候補として検討したい。

また利用したい

弊社のビジネスプラン策定のために非常に有用であったので、また利用させてもらいたい。

大分類		中分類		小分類		件数
A	技術分野A	A1	課題・解決手段	A11	作業効率	25件
				A12	正確さ	18件
				A13	安全性	2件
				A14	その他	0件
		A2	効果・効能	A21	コストダウン	1件
				A22	精度向上	15件
				A23	時間短縮	21件
				A24	その他	3件
		A3	用途	A31	用途①	7件
				A32	用途②	31件
				A33	用途③	0件
				A34	用途④	6件
				A35	その他	3件

自社の技術的優位性を把握したい。

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

所 在 地 ： 東京都千代田区　　**設　立** ： 2017 年　　従業員数：60 名
事業内容 ： 波動制御技術をコアとする視聴触覚技術の社会実装プラットフォーム事業
URL : http://pixiedusttech.com/

自社の技術的優位性を把握したい

当社は「HAGEN™波源」（波動制御技術）をコア技術として、新たな分野への技術開発に取り組んでいます。その分野における技術水準や、競合他社を調べることで、自社の技術的優位性を把握し、研究開発投資を進めていきたいと考えました。

ビジネスモデルや契約スキームを構築

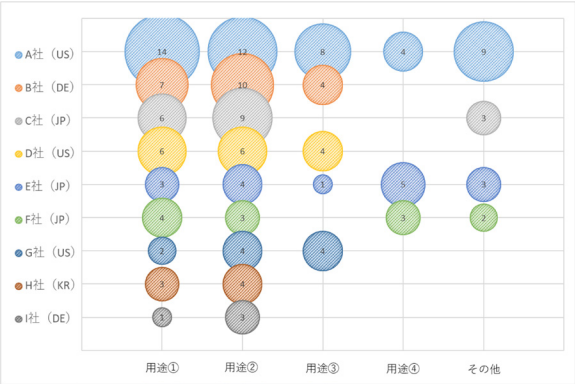
今後は、優位性を確保できる技術に優先して研究開発投資を行っていきます。
また、研究を進めていくと同時に、新たなビジネスモデルや契約スキームを構築し、当社の技術の社会実装を推進していきます。

優位性が確保できる技術に投資

特許情報を分析することで、自社の技術的優位性を把握できました。

効果的な調査

分析結果は、効率よく研究開発を進めるための重要な情報を提供してくれ、大変助かりました。



当社技術の特許性を検証したい。

メディギア・インターナショナル株式会社

所 在 地 ： 神奈川県横浜市　　**設　立** ： 2013 年　　従業員数：9 名
事業内容 ： 医療用器材の開発・製造・販売事業、特に IVR 医療向け器材及びシステム
URL：http://www.medigear.co.jp/

当社技術の特許性を検証したい

当社が開発した癌治療用ナノデバイスを事業化するにあたり、早い段階で特許を取得できるかどうかの見込みを、検証する必要がありました。

また、当社の研究開発の方向性や、今後の事業戦略を考えるうえで、ナノデバイスの製造方法について、関連する技術の傾向を調査する必要がありました。

独自性・優位性を確認

当社技術が記載された資料は検出されず、関連する技術の傾向分析から、直接的な競合他社が存在しないことから、当社技術の独自性を確認することができました。

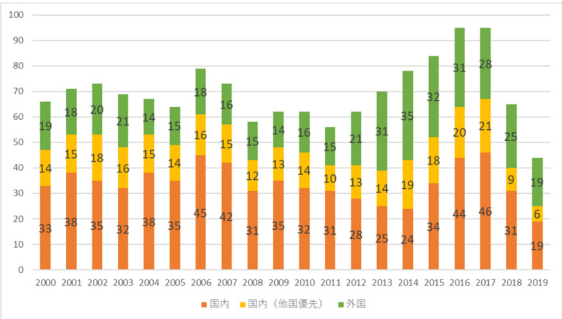
また、参考となる特許文献の提示から、開発のヒントを得ることができました。

投資家向け説明資料に

国の支援事業における客観的な調査結果として、投資家向けに当社技術の独自性を PR するために説得力のある資料となると考えています。

分析表が非常に便利！

表計算ソフトを利用した、参考文献の一覧は、特許の書誌事項だけでなく、技術的特徴やコメントなど、様々な情報が整理して記載されており、今後、いろいろな観点でさらに分析や推測ができます。



新技術を権利化したい。

有限会社 志津刃物製作所

志津匠 SHIZU TAKUMI

所 在 地 ： 岐阜県関市小瀬 2771-1　　設　　立 ： 1959 年
従業員数：16 名　事業内容 ： 家庭用刃物、金属部品等の製造販売
URL :https://www.shizuhamono.net/

新技術を権利化したい

当社では、新たな包丁の製造技術を考案し、岐阜県生活技術研究所との共同研究を進めてきました。この技術の権利化の可能性を探りつつ、さらに他の製品へ活かすことができないか、特許情報から知ることができないかと期待して応募しました。

自社技術と先行技術の比較

今回の調査では、自社技術を権利化するために障害となり得る先行特許を発見できました。また、類似する分野の技術を幅広く調査することで、どのような製品に類似技術が用いられているかがわかりました。

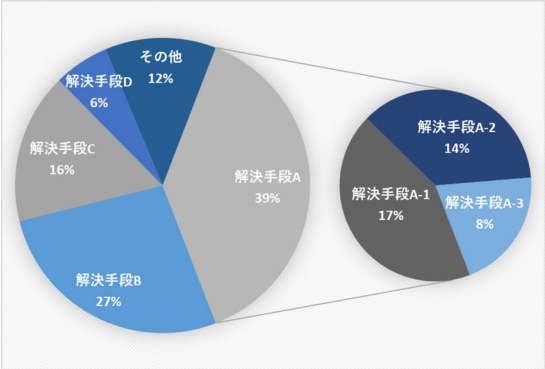
他の製品への展開も

今回の調査結果は、権利取得に役立てるとともに、今後この技術を活かして新たな製品分野にチャレンジする際の検討材料として活用したいと思います。

調査結果が分かりやすい

ヒアリング、三者面談、報告会と、計３回もお越し頂き、直接説明を頂いたことで、支援の流れも調査の結果も非常に理解しやすかったです。

また、無料の支援であることも非常に有難いと感じました。



事業化に向けて特許権を取得したい。

株式会社データグリッド

所 在 地 ：京都府京都市　**設　立** ：2017 年　**従業員数** ：17 名
事業内容 ：クリエイティブ AI の開発、AI 関連システムの開発及びコンサルティング
URL：http://datagrid.co.jp/

事業化に向けて特許権を取得したい

当社では、GAN アルゴリズムを用いた、リアルな実在しない人物画像を生成する AI を開発しており、事業化に向けて当社技術の権利化を図りたいと考えています。

また、当社の研究開発の方向性や、今後の事業戦略を考えるうえで、関連する技術の傾向や、著名な研究者の外国特許文献を調査する必要がありました。

類似文献の発見、競合企業を把握

当社技術を権利化するにあたり、参考となる類似の特許文献を見つけました。

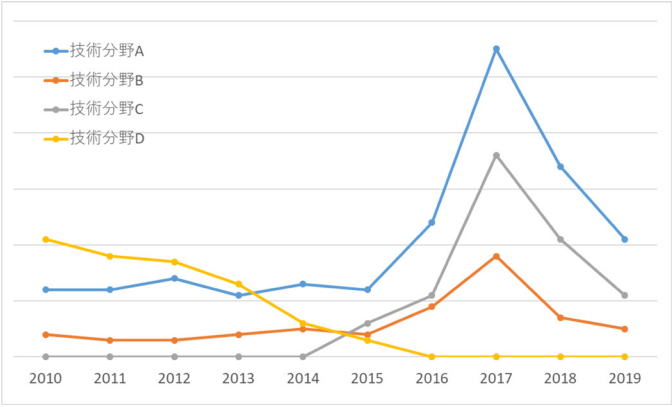
また、GANアルゴリズムに関する特許文献を調査することで、技術動向や主要プレーヤーの存在を確認することができました。

オープン・クローズ戦略の策定

分析結果を利用して、特許取得を目指すとともに、オープン・クローズ戦略を活かした事業化に取り組んでいきたいと思います。

新たな気付きがあった

分析の観点を含め、自社では気付かなかった点について、特許情報分析のプロからアドバイスを頂けたことが、大変有意義だったと思います。



研究成果を客観的に評価したい。

公立大学法人大阪 大阪市立大学

大阪市立大学 OSAKA CITY UNIVERSITY

所 在 地 ： 大阪府大阪市　　**設　立** ： 1949 年
事業内容 ： 教育・研究機関
URL :https://www.osaka-cu.ac.jp/ja

研究成果を客観的に評価したい

国立研究開発法人科学技術振興機構の研究成果展開事業産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）プロジェクトに参画し、ソリューションプラズマ装置に関する研究開発を行っています。この支援事業を活用して、開発成果の技術的な位置づけを把握し、権利取得を目指したいと考えています。

類似する先行特許を把握

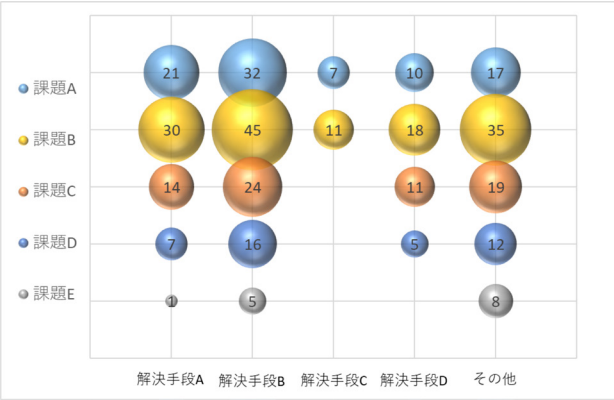
今回の調査では、ソリューションプラズマ装置に関して、特に注目する幾つかの技術的ポイントに絞り、参考情報となる先行特許文献を見つけることができました。

プロジェクト成果として

調査結果は、プロジェクト内での研究成果報告をはじめ、様々な研究成果発表の場で役立つ資料となります。

期待どおりの調査結果

調査を行う前に、調査担当者と直接議論する機会があったおかげで、知りたかった情報が的確に調査結果に盛り込まれていたと思います。



ビジネス展開に向けて、知財戦略を策定したい。

株式会社八旗農園

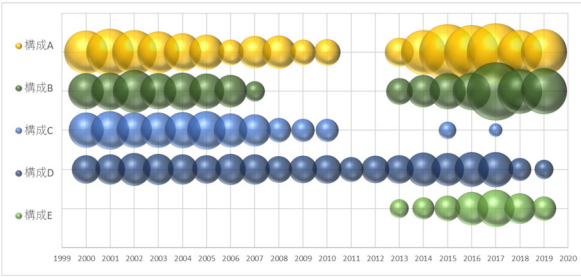
所 在 地 ： 和歌山県紀の川市　　**設　　立** ： 平成26年2月
従業員数 ： 11名　　**事業内容** ： 農産物の生産・販売・加工
URL：http://www.hakkifarm.com/

ビジネス展開に向けて、知財戦略を策定したい

当社では、和歌山県工業技術センター、国立和歌山高等専門学校、NPO法人HPRCと共同研究のもと、新たな果物加工品の製造方法を開発しました。この製造方法が他社の特許に抵触していないか、また、いかなる特許・情報戦略をとるのが最適かを知りたいと考え、応募しました。

既存技術との関係を把握

食品加工技術の中で、特に関連する技術を抽出し、分析することで、既存技術と比較して、自社技術がどのような位置づけにあるのかを整理しました。



権利化とノウハウ化の判断材料に

今回の分析結果によって、権利化とノウハウ化を上手く使い分けた取り組みが必要となってくることが明確になりました。特に、既存技術と比較することで、権利化、ノウハウ化それぞれのポイントを整理することができました。

丁寧なヒアリングと調査結果の説明

採択後のヒアリングから、私たちが知りたいことに対して、どういった情報が既知なのか、また、それをどのように活かせばよいのか、分かりやすい説明がありました。また、分析結果については、専門家から直接、質疑を交えたご説明を頂くとともに、今後の特許化・ノウハウ化戦略策定の方針決定に役立つアドバイスまで頂くことができました。

研究課題を解決したい。

地方独立行政法人 山口県産業技術センター

所 在 地 ： 山口県宇部市　**設　立** ：1902 年　**従業員数** ：79 名
事業内容 ： 新技術や新製品の研究開発支援および受託研究等、地域企業の支援
URL : https://www.iti-yamaguchi.or.jp

研究課題を解決したい

近年、水素エネルギー社会の実現に向けて製造技術の開発に大きな関心が寄せられています。我々は、水素を製造する技術の中でも、水の電気分解技術に注目していますが、電力等維持コストの面で課題があり、新たな電極の研究開発を行っています。その解決手段のヒントを得るため、他者の技術を調査する必要がありました。

他者コア技術の把握

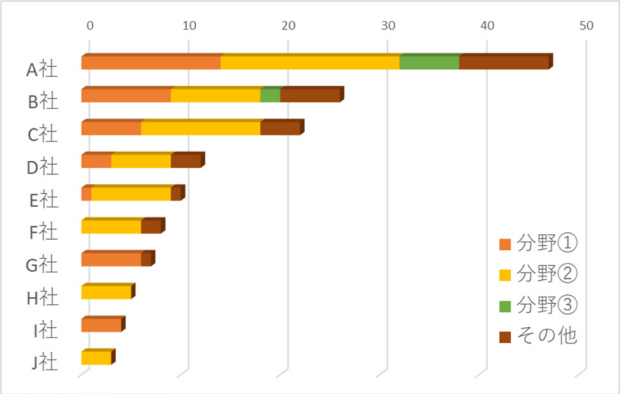
特許情報を分析することで、他者の研究開発動向や、核となる技術を把握することができました。

革新的な技術の開発

分析結果を利用して、我々の所有する特許と融合することで、新たな電極の開発を目指したいと思います。また、今後の事業化を行う上で、連携する中小企業の研究開発戦略の策定にも生かしていきたいと思います。

的確な分析結果

調査結果の報告では、特に我々が注目していたポイントが細かく分析されており、今後の研究開発において非常に重要な情報となりました。



研究開発の方向性を見極めたい。

株式会社スポーツセンシング SPORTS SENSING

所 在 地 ： 福岡県福岡市　**設　立** ： 2015 年　**従業員数** ： 16 名
事業内容 ： スポーツ・リハビリテーション分野のセンシング機器製造
URL : https://www.sports-sensing.com/

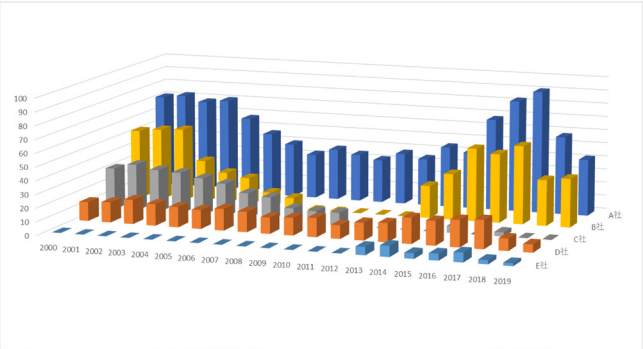
研究開発の方向性を見極めたい

現在、当社ではスポーツ分野における計測技術において、機器の低コスト化等を主な課題とした研究開発に注目しています。

今後、この技術開発を進めていくにあたり、障害となる技術や競合となるプレーヤーがいないか、予め把握したいと考えました。

他社の技術動向を把握

今回の調査では、当社の注目する技術のポイントに絞って特許出願動向を調べることで、主要なプレーヤー、特徴的な技術、その技術が活かされている製品分野等を知ることができました。



ニッチトップを目指す

調査結果から、当社が着目していた分野はまだ他社があまり進出していないニッチな分野である予想が裏付けられました。反面、当社と考えていた技術と近い発想の技術が出願されていることも分かりました。

今後はこの分野での市場優位性を確保していきたいと考えています。

柔軟な対応と丁寧な説明

事前に、当社事業に役立てるためにどういった情報が提供頂けるのかをご提案頂き、要望に応じてアレンジをして頂いた結果、満足のいく調査結果が得られました。

技術トレンドを把握 したい。

AMI株式会社

所 在 地 ： 熊本県水俣市　　**設　　立** ： 2015 年　　**従業員数** ：19 名
事業内容 ： 心疾患自動診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器の開発・販売
URL : https://ami.inc

技術トレンドを把握したい

当社は心電・心音の同時計測技術と独自アルゴリズムによるデータ処理により、心疾患の診断をアシストする革新的な聴診器「超聴診器」を開発しています。今後の開発の方向性を検討するために、聴診と心音解析に関して、技術トレンドを把握したいと思いました。

競合他社を把握

特許情報を分析することで、突出して出願する競合他社、及び、それを追随する競合他社などを把握することができました。また、競合他社の特許出願群を解析することで、どのような特許網を形成しているか把握することもできました。

これまでにない新しい技術を開発

分析結果を研究開発の方針を検討する材料として活用し、迅速に新たな技術を開発していきたいと思います。

素早い対応

ヒアリングや三者面談で要望を十分にきいてもらい、報告会まで速やかに実施いただき、非常に便利な支援策であると感じました。

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	総計
用途①		3	5	1		1	1	3	4	2	4	4		3		2	4	4			41
用途②	4	8	7	6	2	4	3	2	2	5	17	5	1	6	6	10	7	9	6	1	111
用途③	4	2		1	8	1	4	1	1		6	1			5	2	1	3	1		41
用途④	11	14	10	7	17	12	9	10	17	5	20	14	8	10	6	17	7	2	4	2	202
用途⑤	3	4	2		3		4	1		1		2			1						21
用途⑥		1	2		1			1													5
用途⑦		1	1			1		1													4
用途⑧												1			2						3
その他	3	6	4	8	2	6	1	3	3	3	5	2	1	8	8	6	4	5	1	2	81

特許情報分析による
中小企業等支援
事例集

特許を調べて経営課題を解決？

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

中小企業等特許情報分析活用支援事業
2020 年 3 月作成